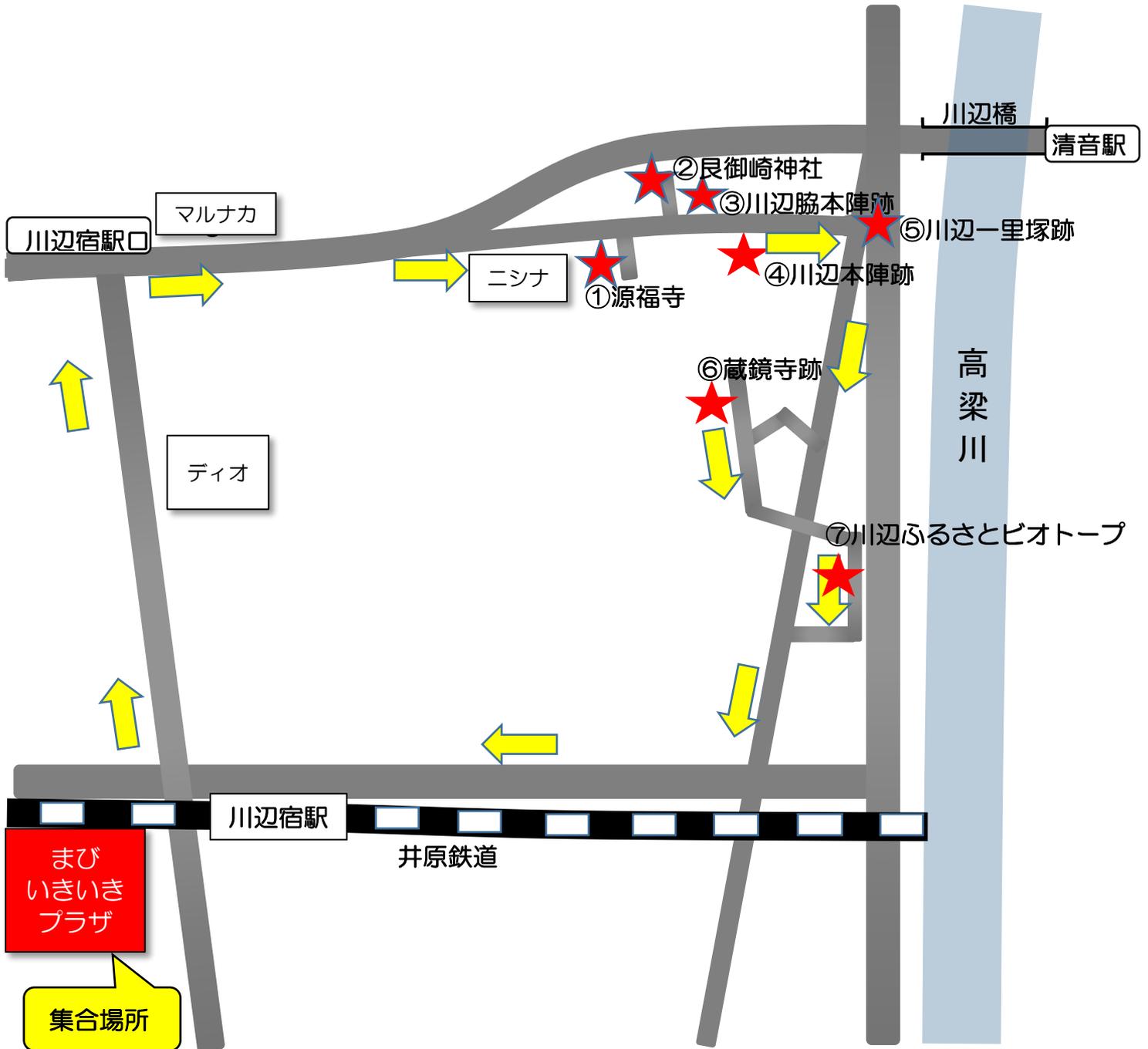


# 老人福祉センター三館交流事業 「レク散歩」

真備町川辺周辺を楽しく散策してみませんか。

- 1 日時 平成29年3月28日(火) 10時~12時 雨天中止  
(中止の決定は、前日に各自へ連絡します。)
- 2 集合場所 まびいきいきプラザ 駐車場 10:00集合  
(川辺宿駅の西隣)  
倉敷市真備町川辺2271番地
- 3 行程 10:00説明 ⇒ 源福寺 ⇒ 良御崎神社 ⇒ 川辺脇本陣跡 ⇒  
川辺本陣跡 ⇒ 川辺一里塚跡 ⇒ 蔵鏡寺跡 ⇒ 川辺ふるさとビオトープ  
⇒ 12:00まびいきいきプラザ 解散(5・6Km程度)
- 4 対象者 市内在住の60歳以上の人 50人程度
- 5 講師 小野敏也(倉敷市文化財保護審議会委員)
- 6 参加費 無料
- 7 申込 西岡荘・有城荘・まきび荘の窓口へ 3月25日(土)締切  
申込の際は、携帯番号を記入してください。  
(中止等の連絡がし易い為。)
- 8 携行品 飲み物、杖(あれば)
- 9 服装 散策のできる服装、防寒着(雨や寒さ除け)
- 10 当日の緊急連絡先  
西岡荘・板野 090-9464-3714
- 11 問合せ先 倉敷市西岡荘 086-423-2265  
倉敷市有城荘 086-429-1792  
倉敷市まきび荘 086-698-6151

# レク散歩コース略図



## ①源福寺

源福寺の創建は延徳2年（1490）、榎本梅屋が英巖和尚（華光寺2世）を招いて開いたのが始まりとされます。江戸時代に入ると岡田藩主伊東家歴代の菩提寺として庇護されています。堂内には歴代藩主の位牌が安置され、境内には9代藩主伊東長裕の墓碑をはじめ一族の墓碑が建立されています。又、近くを流れる高梁川は度々洪水で大きな被害を出しており「明治26年大洪水供養塔」が昭和4年に建立されています（明治26年大洪水では死者200余名、365戸流出）。

## ②良御崎神社(うしとらおんざきじんじゃ)

祭神 吉備津彦命(（ヒノヒコノミコト)、温羅命(ウラノミコト)、王丹

創建・由緒 詳細は不詳。

吉備津神社本殿の四隅に祀られている四つの御崎神社のうち、鬼神とされる温羅(ウラ)を祭神としている良御崎神社の分社。鎮座している丘は、かつては城郭、古代では古墳だったとも言われている。また、鎮座地は『桃太郎』での鬼のモデルと言われる温羅の胴体が埋められた地との伝承がある。

## ③川辺脇本陣跡 ④川辺本陣跡

川辺周辺は山陽道の宿場町として栄えていました。

残念ながら建物は残されていませんが、参勤交代の大名たちの宿泊施設だった本陣（川辺本陣、川辺脇本陣）がありました。因みに横溝正史の『本陣殺人事件』の舞台でもある。

現在でも最寄り駅の名前が川辺宿駅である事に名残が伺えます。

当時、川の状況によっては長い滞在を余儀なくされる事もあったそうです。

川辺地区はそうした人々を対象にした商売で、非常に賑わっていたそうです。川辺本陣は、山陽道の宿駅、また、小田川と高梁川の接合点に位置する川港として繁盛し、江戸時代には、総社をしのぐほどであったと伝えられている。

残念ながら、本陣、脇本陣ともに現存はせず、跡を示す標識が建てられているのみである。

## ⑤川辺一里塚跡

高梁川の土手近くにある「史跡 山陽街道一里塚」「江戸より百八十里」という記載が見える。

かつての山陽道に沿って、井原線は走っている。

## ⑥蔵鏡寺跡

江戸時代において備中国下道郡（現在の総社市）で起こった農民一揆、民衆騒動である。この事件で犠牲となった4人の村民を（新本）義民四人衆（ぎみんよにんしゅう）と呼ぶ。この事態に同郡川辺村の蔵鏡寺住職など識者が仲裁を行い、数度にわたる藩側と村民側との話し合いが行われたという。

## ⑦川辺ふるさとビオトープ

公園用地として、用水ため池（通称新田堀）の敷地を借り受け、用水機能も残しながら親水公園として一体的整備を行った。

全体面積約3100㎡をおおむね3等分して別々の機能を持たせている。

一つ目は「用水機能」

二つ目は、川辺地区に数多く生息するレッドデータブックの絶滅危惧種であるダルマガエル等水辺生物の生息も視野に入れた、水生動植物のための環境を保つ「自然環境機能」である。

三つ目は前記二つの機能の間においてため池の水・魚や景観を周囲を巡って楽しんだり、水生動植物の観察などを通して自然と人間がふれあう「楽しみ・ふれあい機能」である。



